

第1号議案

2015年度のまとめと2016年度のすすめかた

《2016年度スローガン》

地域包括ケア時代－誰もが、住み慣れた地域で “その人らしく、気持ちよく生きる” ことができるまちづくり

はじめに

2015年度は、通常総代会に初めて姫路市長にご出席いただくとともに、姫路市と「地域見守りネットワーク」協定の締結、健康チャレンジ①2015の企画で当生協の支部のあるすべての自治体からの後援、そして姫路市「協議体」②への参画など、“行政との顔の見える関係づくり”が大きく前進しました。

また、事業活動では、4月に姫路市内で初めての定期巡回・随時対応サービス③中部を福祉介護センターひがし内に開設し、在宅サービスの限界を高め、地域包括ケア④時代にふさわしい事業展開を力強く推進しました。

2016年4月には法人内43番目の事業所である定期巡回・随時対応サービス東部を福祉介護センター別所内に開設しました。2016年4月の診療報酬改定や今後の「新しい総合事業」⑤の動向を踏まえ、2016年度も事業と活動の新たな展開を着実にすすめます。

姫路医療生協の理念「人と人との支え合いですこやかに生きる」は、2003年度通常総代会で決定し、運用してきました。今総代会では、地域包括ケア時代にふさわしく、“個人の尊厳”と“生活の質（QOL）の向上”を大切にしたい理念「その人らしく、気持ちよく生きる」を新たに提案します。

私たちは、事業を通じた社会貢献をすすめ、超高齢社会“2025年問題”を乗り越え、未来を切り開くことをテーマに事業と活動をひろげます。

姫路医療生協の姫路市内における 介護サービスのシェア（件数）

	2014年度実績	2015年度実績
□小規模多機能ホーム	30.8%	30.7%
□訪問入浴	27.6%	25.5%
□訪問看護	23.4%	21.8%
□訪問介護	11.2%	10.4%
□ケアプラン	11.0%	10.1%
□福祉用具レンタル	9.8%	8.8%
□通所リハビリ	9.3%	6.1%
□通所介護	5.1%	5.9%



2016年4月、福祉介護センター別所内に
定期巡回・随時対応サービス東部を開設

1) 2015年度のまとめ

1. 利用者中心の統合・一体化したサービスの提供をすすめます

①環境変化に対応し、地域ニーズに応えた事業展開をすすめました。

○2015年4月に姫路市内初の定期巡回・随時対応サービス中部を開設し、翌年4月には、定期巡回・随時対応サービス東部を開設しました。

②2015年4月の介護報酬改定対応をすすめました。

○2015年4月の介護報酬改定対応で、小規模多機能グループとデイサービスグループで大きく経営改善をはかることができました。

○機能強化型訪問看護ステーション^⑥の取得は今後の重点課題です。

③2015年度決算は、事業収益42億7,256万円（予算比96.0%、前年比103.6%）、経常利益8,273万円（経常利益率1.9%、予算比54.7%）の到達となりました。

④生活行為向上リハビリ^⑦研修会や姫路医療生協版「地域ケア会議」^⑧を開催し、リハビリ機能の強化、多職種協働をすすめました。

⑤共立病院に電子カルテを導入（10月）しました。

2. 健康づくり・助け合い活動をひろげ、地域コミュニティを大切にします

①全住民を対象にした地域に開かれた健康づくり・助け合い活動を推進しました。

○健康チャレンジ2015は、支部のある3市1町から後援を得て、463名の参加で楽しく健康づくりをすすめました。

○ブロックや支部主催の集いや健康講座、まちかど健康チェックなどが多彩におこなわれました。

○事業利用委員会活動では、家族会や認知症カフェ、各種イベントなどの多彩な活動がひろがりました。

○仲間ふやしは685名（純増－872名）、出資金ふやしは4,859万円（純増28万円）の到達となりました。積立出資は月平均1,098件となりました。



支部バスツアー（花田支部）

②戦後・被爆70年“憲法を守り
生かす活動”をすすめました。

○安全保障関連法（戦争法）
に反対する理事会アピール
を7月と1月に発表し、署
名宣伝行動や憲法大学習会
等をおこないました。

○原水爆禁止世界大会（広島・
長崎）に計4名を代表派遣
しました。

○6～7月の教育学習月間では、職員対象の「憲法学習会」を5回実施し、延べ278名
が参加しました。



戦争法案反対！姫路大集会・パレード

3. “地域包括ケアを担う人づくり”をすすめます

①「職員育成4つの視点」に基づき、職員研修をすすめました。

○全職員を対象とした集合研修を延べ13回実施しました。

○リーダー育成研修、営業セミナー、MBO（目標によるマネジメント）研修、安全運
転研修、等を開催しました。

②組合員と職員がともに学び合いました。

○第17回介護・医療フォーラムは在宅ホスピスをテーマに開催し、組合員・職員計275
名が参加しました。

○通信教育は、組合員80名、職員112名が受講しました。

③人材確保・育成を重視しました。

○介護系学校への営業活動やインターンシップ（就業体験）・実習の受け入れ等を通じ
て、2016年4月に新卒介護福祉士を6名採用することができました。

○リハビリ部門の奨学生が3名誕生しました。

○医師確保は今後の最重点課題です。

④マイナンバー対応やホームページ改善プロジェクトの立ち上げ等をおこないました。

2) 2016年度のすすめかた

1. 環境変化に対応し、地域ニーズに応えた事業拡大と利用者増をはかります

①地域包括ケアとICF（国際生活機能分類）^⑨を共通言語にします

○2016年4月の診療報酬改定の着実な対応と2018年4月の診療報酬・介護報酬同時改定を見据えた対応をすすめます。

○「中重度利用者」「認知症」「生活行為向上リハビリ」「在宅緩和ケア」「口腔ケア」「栄養管理」対応の機能強化をはかります。

○利用者中心の統合・一体化（連携強化）したサービスを提供します。

○共立病院の地域包括ケア病床^⑩の運用を強化するとともに、医療部門の訪問診療の利用者増をはかります。



共立病院 重成医師の訪問診療

○機能強化型訪問看護ステーションを取得します。

②地域密着型サービス等の新規事業の積極的な展開をはかります

○2016年9月に居宅介護支援事業所香寺、2017年4月に小規模多機能ホーム香寺と定期巡回・随時対応サービスあぼしを開設します。

○福祉介護センターひがしを生協本部の東に移転（7月）します。

○共立病院大改造の条件整備、デイサービス開設の検討をおこないます。

○姫路市に隣接する市・町での事業展開の検討をすすめます。

③経営活動は三位一体（質の向上・コンプライアンス・利用者増）ですすすめます

○コンプライアンスを徹底し、各種加算を取得することで質の向上につなげます。

○広報活動と営業活動を強化します。

○事業収益は45億8,831万円（前年比107.4%）、経常利益は1億9,651万円（経常利益率4.3%）を実現します。全事業所で黒字経営をめざします。



姫路医療生協版「地域ケア会議」

2. 行政や他団体との“顔の見える関係づくり”を事業所やブロック、支部でひろげます

①支部活動の活性化をはかり、組合員・地域住民の要望に応えます

○つながる安心～その人にとって心地よいつながりづくり～をひろげます。

○イチ押し班会メニュー⑩、健康チャレンジ2016、キッズチャレンジ（子ども向け健康チャレンジ）、健康講座等を地域にひろげます。

○日常生活圏域を意識した支部づくり、支部分割をすすめます。

○世話人づくり（アップ10：各支部の運営委員10名）をひろげます。

○仲間ふやし1,050人、出資金ふやし3,000万円以上（純増1,500万円）、各事業所は組合員利用率のアップをはかります。

②「新しい総合事業」への対応をすすめます

○公民館等の公共施設の活用や“通いの場”づくりを重視することで、“地域に開かれた活動”をすすめます。

○事業利用委員会活動は、“家族会”“認知症カフェ”“利用者増”をテーマに多彩な活動をすすめます。

○くらしの助け合いの会はなちゃんの支援会員や各事業所ボランティアをふやします。

○協議体へは“すべての社会資源は地域のもの”の立場で参画します。

③くらし・平和活動をすすめます

○行政とは“対話型・提案型”で、ともに地域包括ケアを推進します。

○原水爆禁止世界大会への代表派遣や「大学学習会」等を企画します。

○憲法を守り生かす活動、社会保障の充実、原発ゼロと自然エネルギーへの転換の声をひろげます。



認知症カフェ「“ホッ”とサロン」



あぼしブロック ヨガサークル

3. “地域包括ケアを担う人づくり”をすすめます

①職員育成 4つの視点の具体化・実践をすすめます

○職員育成 4つの視点－（１）認知症ケアと生活行為向上リハビリを学び実践できる（２）多職種協働ができる（３）組織の成果を上げるために意識的に行動できる（４）主体的に生協活動に参加できる人づくりを強化します。

○全職員を対象にした職員研修を実施します。

○マネジメント研修を重視し、管理者・リーダーを計画的に育成します。

○認知症ケアと生活行為向上リハビリの実践を重視します。



各事業所での介護実習生受け入れ

②あらゆる手立てを講じて、人材確保をすすめます

○特に医師、看護師、介護福祉士の確保は必須の課題です。

○“働きやすい職場づくり”をすすめ、離職防止をはかります。

○介護職員の「実務者研修」にとりくみます。

③第18回介護・医療フォーラムの開催と通信教育にとりくみます

④防災対策やリスク管理を重視し、内部統制システム^⑫の確立をはかります



第17回介護・医療フォーラム

《語句の解説》

① 健康チャレンジ

自ら目標を決め、2か月間、気軽に楽しみながら健康づくりに取り組む姫路医療生協の健康企画

② 協議体

地域の生活支援体制を構築するために設置された行政の検討会議

③ 定期巡回・随時対応サービス

訪問介護と訪問看護とオペレーションサービス（随時対応）を組み合わせた24時間対応サービス

④ 地域包括ケア

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくり。介護・医療・生活支援・介護予防・住まいの切れ目のない一体的なサービスの提供をめざします

⑤ 新しい総合事業

各市町村が、地域包括ケアを推進するために介護予防や生活支援サービス等を整備する事業

⑥ 機能強化型訪問看護ステーション

大型化・多機能化した訪問看護ステーション。充実した人員体制、24時間対応、在宅看取り、教育機能等を兼ねそろえる

⑦ 生活行為向上リハビリ

日常生活の“活動”（食事・入浴・排泄など）を高め、家庭や社会への“参加”を可能にし、自立を促すリハビリのこと

⑧ 地域ケア会議

多職種の医療・介護専門職や地域住民等が参加して、事例を通して地域課題を明確にし、新たな社会資源の開発につなげる会議

⑨ ICF（国際生活機能分類）

障害だけでなく生活機能にも焦点を当て、その人の生活－心身機能（体の働き）、活動（生活）、参加（人生）を見ることを重視した考え方

⑩ 地域包括ケア病床

急性期治療後の患者の受け入れ、在宅復帰支援、在宅や施設の患者の急性増悪時の受け入れ、リハビリ機能を持った生活支援型病床

⑪ イチ押し班会メニュー

各事業所・職員が専門性を生かして作成した班会メニュー。介護・医療・福祉の専門家が、地域で分かりやすくお話しします

⑫ 内部統制システム

業務全般の適正さが確保できる仕組みをつくり、その仕組みに基づいて運営すること

2016年度 各事業所の理念と重点課題

《姫路医療生協の理念》

その人らしく、気持ちよく生きる

共立病院

《理 念》利用者を中心とした介護と医療の連携で安心・安全のサービスを提供します
《重点課題》

- 訪問診療の充実や病院からの在宅復帰機能向上など、地域包括ケア病床の役割を医療活動の中心に位置づけます。
- 主体的に法人外医療機関や介護事業所との連携に取り組み、地域での役割を果たします。
- すべての利用者が満足できるような職員の接遇対応を実現します。

ヘルスコープあぼし診療所

《理 念》安心・安全の介護・医療連携で、利用者様へ満足度の高いサービスを提供します
《重点課題》

- 常勤医師を確保し、在宅医療での安心・安全を今以上に広め、終末期まで対応できる診療所をめざします。
- 患者・家族の思いに寄り添い、利用者増に取り組みます。
- 介護・医療と より患者様の日常生活での生活に満足が得られる連携を図ります。

共立歯科

《理 念》口は いのちの入り口 健康の入り口

～生涯口から食べる楽しみをサポートします～

《重点課題》

- お口の健康を通じて在宅生活をサポートし、在宅歯科診療をひろげます。
- 安心安全な治療を提供し、健全で安定した経営を行います。
- すべての分野で選ばれる歯科を目指し、接遇の向上に努めます。

居宅介護支援事業所

《理 念》ふれ愛 ささえ愛 みとめ愛 とともに生きる

《重点課題》

- 7か所目の居宅介護支援事業所開設を目指すとともに、特に、地域密着型サービスを周知強化し、姫路医療生協のシェア率の拡大を図ります。
- ICFの視点に立った生活行為向上を意識したアセスメント力を身に付け、お一人おひとりの利用者の尊厳を大切にした自立支援を実践します。
- 法人内外の地域ケア会議に参加し、地域の社会資源の活用と多職種との連携を図り、地域

包括ケアシステムを推進し、そのコーディネーターとしての役割を担えるように取り組みます。

姫路市増位・広嶺地域包括支援センター

《理 念》住み慣れた街で 共に支え合い 共に生きる

《重点課題》

- 住民団体や既存の地域資源と連携・協働し、地域の自助力・互助力を高められるような取り組み（介護予防・認知症予防・権利擁護などの普及啓発）の充実をはかります。
- 地域づくりを視点とした「地域診断」を行い、担当エリアごとの地域課題を抽出し、効率的・重層的な取り組みをすすめます。
- 「地域ケア会議」を利活用し、多（他）職種連携協働と地域のコーディネート機能を強化し、地域包括ケアシステムの推進を図ります。
- 認知症の普及啓発を推進し、支援体制の強化に努め「認知症にやさしい地域づくり」をすすめます。

相談支援事業所

《理 念》ともに寄り添い、一人ひとりの自立をささえます

《重点課題》

- 障害、介護の事業所との良好な関係をつくり、利用者の獲得をめざします。
- コンプライアンスを守り、相談業務をおこないます。
- 福祉と医療のトータルコーディネーターをめざしし、多様なニーズにも応えていきます。
- 生協活動で相談支援を知っていただき、情報も伝えていきます。

訪問看護ステーション

《理 念》安心・安全・心あたたまる看護を提供します

《重点課題》

- 24時間・365日頼られるステーションめざして、質・量ともに充実した体制をつくります。
- 認知症対応やリハビリ等の幅広い利用者のご要望に応え、満足していただけるサービスを提供します。
- 利用者増に努め、健全で安定した経営をおこないます。
- 在宅看取りへの対応を強化し、機能強化型訪問看護ステーション取得をめざします。
- 法人の方針を周知し、地域の組合員さんと協同して事業活動をすすめます。

定期巡回・随時対応サービス

《理 念》いろいろな不安にお応えできるよう“いつでもつながる安心”を提供いたします

《重点課題》

- 利用者様をはじめ、地域住民の方や居宅介護支援事業所に広く周知して頂けるよう、丁寧な分かりやすい説明や対応に心掛け、営業活動をいたします。

- 一歩先ゆく事業運営に努め、社会貢献もできるよう人材確保にも工夫し、働きやすい職場づくりに努め、若い職員育成にも積極的に取り組みます。
- 安定した黒字経営ができるよう、効率化も図り、利用者確保できるよう努力いたします。

ヘルパーステーション

《理 念》笑顔が見たい… そんな気持ちで優しい介護

《重点課題》

- 地域包括ケアシステムに添ったサービス提供ができるよう、定期巡回・随時対応サービス事業所創設にも積極的に参入し、ご利用者が在宅で気持ち良くすごせるよう努力いたします。
- ICFを共通言語化し、生活行為向上につながる支援に心掛け、自立した生活が送れるよう、また、全員が質の高いサービスを提供できるようにします。
- コンプライアンスの徹底・内部統制システムをすすめ、安定した黒字経営にも努めます。

福祉用具レンタル

《理 念》個性ある住みよい暮らしの演出をお手伝いします

《重点課題》

- 福祉用具専門相談員に求められる知識や技術を身につけ、様々な依頼に対して迅速・丁寧に対応します。
- 病院・各事業所・地域との連携をはかり、安心して在宅生活が送れるように地域包括ケアをすすめます。
- 生協活動に参加してレンタル事業所を多くの方に知って頂き、信頼される事業所を目指します。

訪問入浴サービス共立ひめじ

《理 念》安心・安全をモットーに体と心温まる訪問入浴をお届けします

《重点課題》

- 住み慣れた地域の環境で、ニーズに寄り添った安心できる訪問入浴を提供します。
- コンプライアンスを厳守し、責任感を持って仕事に取り組める職員の育成を図ります。
- 介護保険だけでなく、福祉全般で幅広く利用者の要望にお応えできるように努めます。
- 認知症の研修などに積極的に参加し、理解を深め、その人らしい入浴を提供できるように努めます。

リハビリテーション

《理 念》住み慣れた地域での生活を支えます

《重点課題》

- 初期から重度まで、認知症への適切な工夫の対応を提案します。
- 誤嚥性肺炎への速やかな対応と予防の取り組みを実践します。

○生活行為の維持向上の取り組みを多職種に働きかけて実現します。

デイケア（通所リハビリ）

《理 念》一人ひとりを大切に、その人らしさをサポートします

《重点課題》

○ICF（国際生活機能分類）の理解を深め、生活行為力の向上につながるリハビリテーションを実践します。

○場所場面だけでなく、ご自宅への訪問を積極的におこない、在宅生活を支えるリハビリテーションを実践します。

○地域包括ケアの一翼を担う事業所として、各サービス事業所と連携・協働していきます。

デイサービス

《理 念》

さろお 一人一人を大切に その人らしさをサポートします

つどい・てがら 人がつどい『笑い』が生まれる

おおつ 出会いを大切にし 気持ちよく過ごして頂けるデイサービスをめざします

《重点課題》

○生活行為向上につながるリハビリを実践します。

○認知症ケアの技術を磨き、在宅生活を支援します。

○地域包括ケアの実践に向け、カフェやサロン活動の開催をめざします。

ショートステイつどい

《理 念》人がつどい「笑顔」が生まれる

《重点課題》

○在宅生活支援のため、中重度・認知症ケアの強化に努めます。

○「利用者の立場から考えるケア」が行える人づくりを進めます。

○職場環境と質の高い組織づくりに努めます。

小規模多機能ホーム

《理 念》

ふるさと 一人ひとりを住み慣れた地域で支え続ける

すずかぜ 柔軟な心で寄り添った介護

さろお お一人おひとりの思いを受け止め、あたたかい介護をめざします

城北 お一人おひとりの思いによりそい、すてきな笑顔があふれるやさしい介護

おおつ そっとより添い、ともに生きる

てがら お一人おひとりの願いを大切に いつも笑顔でよりそう介護

めが ひとりひとりの思いに寄り添い安心して暮らせるもうひとつの家

《重点課題》

- 地域の中で、3つの機能（訪問・通い・泊り）を柔軟に活かし、利用者中心のサービスを提供します。
- コンプライアンスを徹底し、健全な事業所運営と安定した経営に努めます。
- 働きやすい職場づくりに努め、人材の確保と職員育成に取り組みます。

グループホームめが

《理 念》地域とともに、その人らしく暮らせる我が家をめざします

《重点課題》

- 「介護は人」人材育成 専門性を高め、本人主体の支援をします。
- 「利用者確保」（顧客の創造） 顧客確保の営業活動

生協本部

《理 念》正確・迅速・思いやりのあるサービスを提供します

《重点課題》

- 姫路医療生協の新たな事業展開と事業の発展に貢献します。
- 各事業所の利用者増と人材の確保育成に貢献します。
- 法人内事業所の“安心して働ける事業所づくり”に貢献します。
- 健康づくり・認知症サポート・助け合い活動をひろげ、安心して暮らせる地域づくりに貢献します。
- 情報共有・発信ステーションとしての役割を担います。